

入賞

僕たちの水

静岡市内中学校

三年 鈴木 さん

みなさんは水が好きですか。僕は小さいころから、もし人間以外に生まれ変わるなら水がいいと思っていました。そのくらい水が大好きです。その理由は、やっぱり僕の地域が水に恵まれているからだと思います。

僕が住んでいる両河内地区には、「興津川」という二級河川の川が流れています。この興津川は、水がとても澄んでいて、アユやヤマメなどのきれいな川にしかない魚がいます。また、アユの解禁日が五月二十日と、全国的にみてもかなり早いため、多くの釣り人が訪れます。そして、夏になるとキャンプや川遊びをしにくる人がたくさんいます。僕も毎年夏になると、家族や友達と一緒に川へ遊びに行きます。また、普段飲んでいる水も興津川の水です。浄水場で川の水をくみ上げ、ろ過されて水道を通して僕たちのところへ届いています。その水は、消毒する必要がほとんどないといわれるほどきれいな水です。興津川は、僕たち両河内地区の人にとって誇りで、欠かせないものなのです。また、両河内地区には多くの田畑があります。そのため、雨も欠かせません。自分の祖父も畑仕事をしていますが、雨が降った日は、水まきをする手間が省けるため喜んでいきます。雨は田畑の多い両河内地区にとってありがたいものなのです。

しかし、二〇二二年の九月に台風十五号の影響で大量の

雨が降りました。そのため、両河内地区では今までにないくらい多くの土砂災害が起きたり、洪水の被害にあったりしました。僕の家は、幸い浸水や土砂崩れの影響を受けず、水道が二日ほど止まるだけで済みました。しかし、他の家では車が川に流されてしまったり、土砂が家の中に入ったりとするとところもありました。僕の友達も土砂崩れの被害にあい、住んでいた家を失ってしまいました。台風十五号は、今までにないほど多くの被害をもたらしました。いつもありがたく感じている川や雨の水も、ときには恐ろしいものになるのだと、改めて感じさせられました。

このような被害を通して、両河内地区ではたくさん場所での川の工事が進められています。それは、災害を減らすためでもあり、両河内地区に多くの釣り人やキャンプの客を呼ぶためでもあります。そのため、川の水が汚れている日が多かったり、川幅が狭くなったりしています。いつもは透明で透き通っている水が茶色く濁っています。橋の三分の一度までであった川幅も、今ではその半分よりも狭くなっています。また、川の周りに生えていた草や木などの緑も減ってしまっている箇所もあります。確かにこうすること、釣り人やキャンプの客がまた川に来るようになるだろうと僕も思います。しかし、同時に川や緑の自然が薄れ、両河内地区の良さも減少していると思います。緑も多

くあり、きれいな川が流れている、これこそ両河内地区だと思います。だから、もっと自然を大切にしてほしいと思います。

僕の住む両河内地区は、とても水に恵まれています。だからこそ、二〇二二年九月のような災害も起きてしまいました。僕は、これからの災害対策や自然保全、そして水について地域の人たちと話し合う必要があると思います。生まれ育ったこの両河内の水の恵みをより大切に、安全にしていく必要があると考えるからです。